

防災だより

第4号

平成 28 年 10 月 1 日発行 小田急金森泉自治会先守防災隊

あっ大変、火が! 家庭でそんな時・・・様々な初期消火方法でも、家庭用消火器の用意があれば、小規模の内に食い止めることができそうです。**一家に1台、消火器を用意しよう!**

スタンドパイプ操法訓練報告

でも、大地震発生時などでは火災同時多発の可能性があり、公的機関だけでは手が回らない恐れがあります。私たちの街では、消火器の他にスタンドパイプも活用して自ら延焼防止などに役立てようとしています。

7月と9月に地域の4ヶ所で、南消防署員ご指導のもと操法訓練が行われ、全4回の参加者は177名を数えました。7月は水不足による取水制限のあおりで残念ながら放水できませんでしたが、9月には二階屋根に届く放水威力を目の当たりにし、バケツリレーに比べ消火能力が格段に高いことを実感しました。

ただし、署員の方からの説明でも、使用上の危険や注意すべき点多々あること、無理をしないこと、忘れずまごつかないよう訓練が必要なことなどがよく分かりました。



消火栓の蓋開け、足に気を付けて!



チェック! 初めはノズルを閉めておく

消火活動の危険や注意点 南消防署員からの説明要点

無理をしない

- スタンドパイプの主目的は「消火と延焼防止」ですが、私たちは延焼防止に主眼を置くべきでしょう! (初期消火はスピード、プロは毎日訓練しています。私たちは?)
- 絶対家に入ってはいけない! (煙、有毒ガス、熱・・・危険がいっぱい)
- 炎に近づき過ぎない! (プロの服装は? 高温の輻射熱、掛けた水が熱水滴で戻る)

訓練でも注意、本番はもちろん

- 消火栓の蓋に足を挟まないように!
- 消火栓の穴に落ちないように! (ロードコーンなど置いて注意喚起)
- 確実な部品接続 (スタンドパイプ取付・ホース・筒先) 不十分だと水圧で飛びます!
- 夜間は特に注意、必ず照明や危険防止対策を!

だから、正しい使い方を知り、身につける訓練が必要です



筒先からの合図を受け、左回して栓を開けます。 前傾姿勢で水の反動を抑え放水開始！

～ 今後について ～

今回は消防署の機材をお借りしましたが、わが自治会でもスタンドパイプ2セット購入等の手続きを進めており、町田市からの補助金について先ごろ支給（10万円）決定通知を受けました。なお、4回の訓練実施はこの補助金交付条件でもあり、皆さまのご協力の賜物と考えております。購入後は、「わさび田公園」と「ふるさとの森みずき山」におこうと考えています。

また、今回は「スタンドパイプって何だ？」をコンセプトに、どんなものか知ることに重点を置きましたので、極めて基本的な内容に止めました。従って、セットの移動運搬、道路を曲がってホースを伸ばす、何本もつなぐ、手信号、延焼防止はどうやるのかなど、学んで置かなくてはならないことが沢山残っていますし、操作をまごつかないようにしなくてはなりません。来年度も継続して操法訓練を実施したいと考えています。

訓練に参加して顔見知りができれば、非常時の様々なパワーにつながります

いざと云うときのため、「誰でも知っている、誰でも出来る」を目指し、多くの方と協力して取り組みましょう。体力的に出来なくとも、やり方を教えられれば、放水できます。

自らを守ることで地域が守られ、地域を守ることで自らが守られる！